

出資法人等経営状況報告書

1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	令和5年7月28日	担当部署	総合政策部 交通政策課
-------	-----------	------	-------------

※以下は令和5年3月31日現在の内容です。

2 法人等の概要

法人名	東頸バス株式会社		
代表者	代表取締役社長 白石 雅孝		
	<input type="checkbox"/> 常勤	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤	<input checked="" type="checkbox"/> プロパー <input type="checkbox"/> 市兼務 <input type="checkbox"/> その他
所在地	新潟県上越市浦川原区顕聖寺 195 番地 8		
設立年月日	平成8年8月1日		
資本金	30,000 千円	市出資割合	40.0%
設立目的	平成9年3月のほくほく線開業により、バス利用者が減少し、既存バス事業者の経営が危惧されたため、自治体がバス事業に積極的に関与し、旧東頸城地域における生活交通の維持存続を図ることを目的に設立された。		
主な事業	(1) 一般乗合旅客自動車運送事業（乗合バス事業） (2) 一般貸切旅客自動車運送事業（貸切バス事業） (3) 自動車運転及び運行管理等の業務受託事業		

3 役員数

(単位：人)

	常勤	非常勤	計	内訳		
				プロパー	市兼務	その他
取締役	1	2	3	3	0	0
監査役	0	2	2	1	0	1
計	1	4	5	4	0	1

4 職員数

(単位：人)

	計	内訳	
		プロパー	市兼務
正社員	6	6	0
その他	24	24	0
計	30	30	0

5 事業実績（概要）

- 上越市及び十日町市の一部地域（旧東頸城地域）を主たる営業区域として乗合バス事業、貸切バス事業及び業務受託事業により、当該地域の旅客輸送サービスを実施しました。

- 一般乗合旅客自動車運送事業（乗合バス事業）（単位：千円）

年度 項目	令和2年度 (第25期)	令和3年度 (第26期)	令和4年度 (第27期)	前年との 比較増減	前年比
運送収入	9,018	8,789	8,410	△379	95.7%
運送雑収	2,440	728	1,269	541	174.3%
補助金	44,052	42,600	43,113	513	101.2%
計	55,510	52,117	52,792	675	101.3%

- ・新型コロナウイルス感染症の影響による運送収入の減少は続いているが、新型コロナ関連の支援金の増加等により、売上高は52,792千円、前年比675千円の増収となりました。

- 一般貸切旅客自動車運送事業（貸切バス事業）（単位：千円）

年度 項目	令和2年度 (第25期)	令和3年度 (第26期)	令和4年度 (第27期)	前年との 比較増減	前年比
運送収入	1,757	1,794	7,822	6,028	436.0%
運送雑収	2,568	970	1,088	118	112.1%
計	4,325	2,764	8,910	6,146	322.4%

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んでいた運送収入が、大地の芸術祭のツアーバス運行により大幅に回復したほか、新型コロナ関連の支援金が増加したことなどにより、売上高は8,910千円、前年比6,146千円の増収となりました。

- 業務受託事業（単位：千円）

年度 項目	令和2年度 (第25期)	令和3年度 (第26期)	令和4年度 (第27期)	前年との 比較増減	前年比
受託収入	29,825	42,661	42,523	△138	99.7%

- ・契約単価の下落により、受託収入は42,523千円、前年比138千円の減収となりました。

- 営業収益（売上高）及び営業費用（単位：千円）

年度 項目	令和2年度 (第25期)	令和3年度 (第26期)	令和4年度 (第27期)	前年との 比較増減	前年比
売上高	(91,758)	(99,460)	(106,129)	(6,669)	(106.7%)
	89,660	97,542	104,225	6,683	106.9%
売上原価＋販売費 及び一般管理費	(92,302)	(104,572)	(105,962)	(1,390)	(101.3%)
	91,939	104,301	105,889	1,588	101.5%
税引前当期純利益 a	△544	△5,112	168	4,944	-%
法人税等 b	180	180	180	0	100%
当期純利益 a-b	△724	△5,292	△12	5,280	-%

※売上高の()は、営業外収益と特別利益を含む収益総額、売上原価＋販売費及び一般管理費の()は、営業外費用と特別損失を含む費用総額。

- ・運送雑収や乗合バス事業における補助金の減収に加え、燃料費の高騰や車両修繕費の高止まり等により、赤字を計上しました。

6 財務状況（税抜）

（単位：千円）

項 目		第 25 期	第 26 期	第 27 期
		自 令和 2 年 4 月 1 日 至 令和 3 年 3 月 31 日	自 令和 3 年 4 月 1 日 至 令和 4 年 3 月 31 日	自 令和 4 年 4 月 1 日 至 令和 5 年 3 月 31 日
損益計算書	売上高	89,660	97,542	104,225
	売上原価	79,004	91,608	92,715
	売上総利益	10,657	5,934	11,510
	販売費及び 一般管理費	12,935	12,694	13,174
	営業利益	△2,279	△6,760	△1,663
	営業外収益	1,983	1,918	1,904
	営業外費用	236	271	73
	経常利益	△532	△5,112	168
	特別利益	114	0	0
	特別損失	127	0	0
	税引前当期純利益	△544	△5,112	168
	法人税等	180	180	180
	当期純利益	△724	△5,292	△12
項 目		令和 3 年 3 月 31 日現在	令和 4 年 3 月 31 日現在	令和 5 年 3 月 31 日現在
貸借対照表	資 産	94,045	91,620	90,714
	負 債	27,735	30,602	29,708
	純資産	66,310	61,018	61,005
	資本金	30,000	30,000	30,000
	利益剰余金	36,310	31,018	31,005
その他	0	0	0	

※ 金額については、千円未満を四捨五入して表示しており、端数処理の関係上、決算書及び計算結果と一致しない場合があります。

7 市からの財政支出等

(1) 委託額（税込）

（単位：千円）

内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
① スクールバス運転業務	10,080	21,894	20,913	牧・安塚、浦川原・大島
② 庁用車運転業務	2,423	2,148	2,067	三和
③ 給食運搬車運転業務	2,485	2,085	1,957	牧・大島
計	14,988	26,127	24,937	

(2) 財政援助額（税込）

（単位：千円）

内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
① 補助金（助成金）	11,672	12,737	14,105	
バス運行対策費補助金	11,109	12,362	13,780	
事業継続支援緊急助成金	300	0	0	
事業者応援給付金	200	0	0	
地域公共交通感染拡大防止対策補助金	63	0	0	
事業者経営支援金	0	375	125	
エネルギー価格等高騰支援金	0	0	200	
② 貸付金	0	0	0	
③ 損失補償	0	0	0	
④ 債務保証	0	0	0	
⑤ その他（ ）	0	0	0	
計	11,672	12,737	14,105	

8 市以外からの補助金・助成金等

(1) 受給額（税込）

（単位：千円）

内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
① 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金	4,683	3,908	3,551	
② 路線バス運行に関する補助金（十日町市）	28,260	26,330	25,782	
③ 運行継続支援事業補助金（十日町市）	0	0	300	
④ 運輸事業振興助成交付金（新潟県バス協会）	114	0	0	
⑤ 持続化給付金（経済産業省）	2,000	0	0	
⑥ 家賃支援給付金（経済産業省）	1,646	0	0	
⑦ 一時支援金（経済産業省）	0	600	0	
⑧ 事業復活支援金（経済産業省）	0	0	900	
⑨ 特定求職者雇用開発助成金（厚生労働省）	0	300	500	

内訳		令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
⑩	地域公共交通確保維持改善事業費補助金(国土交通省)	115	103	232	
⑪	雇用調整助成金(厚生労働省)	375	0	0	
⑫	三密対策支援金(新潟県)	129	0	0	
計		37,322	31,241	31,265	

9 今後の経営計画等

(1) 次期事業計画

<p>[事業方針]</p> <p>(1) 上越市、十日町市が策定する「交通計画」に参画・提案を行い、地域密着の事業展開を図る。</p> <p>(2) コストの削減と生産性を高め、競争力の強化を図る。</p> <p>(3) 道路運送法第78条の市町村運営有償運送の運転代行業務及び運行管理業務の受注を図る。</p> <p>(4) 事業エリアを中心とする貸切の情報収集を図り、需要の維持に努める。</p> <p>(5) 人にやさしいバス、「安心・安全」な運行を責務とし、地域のためのバスをめざす。</p> <p>[人員計画]</p> <p>全体 34(28)人 内訳：事務係 3(2)人、運行係 2(1)人、運転士 28(25)人、車両係 1 [兼務] 人</p> <p>※令和5年4月1日基準</p> <p>※()内は内数で、嘱託・臨時従業員</p> <p>[車両計画]</p> <p>乗合：9両</p> <p>貸切：2両</p>

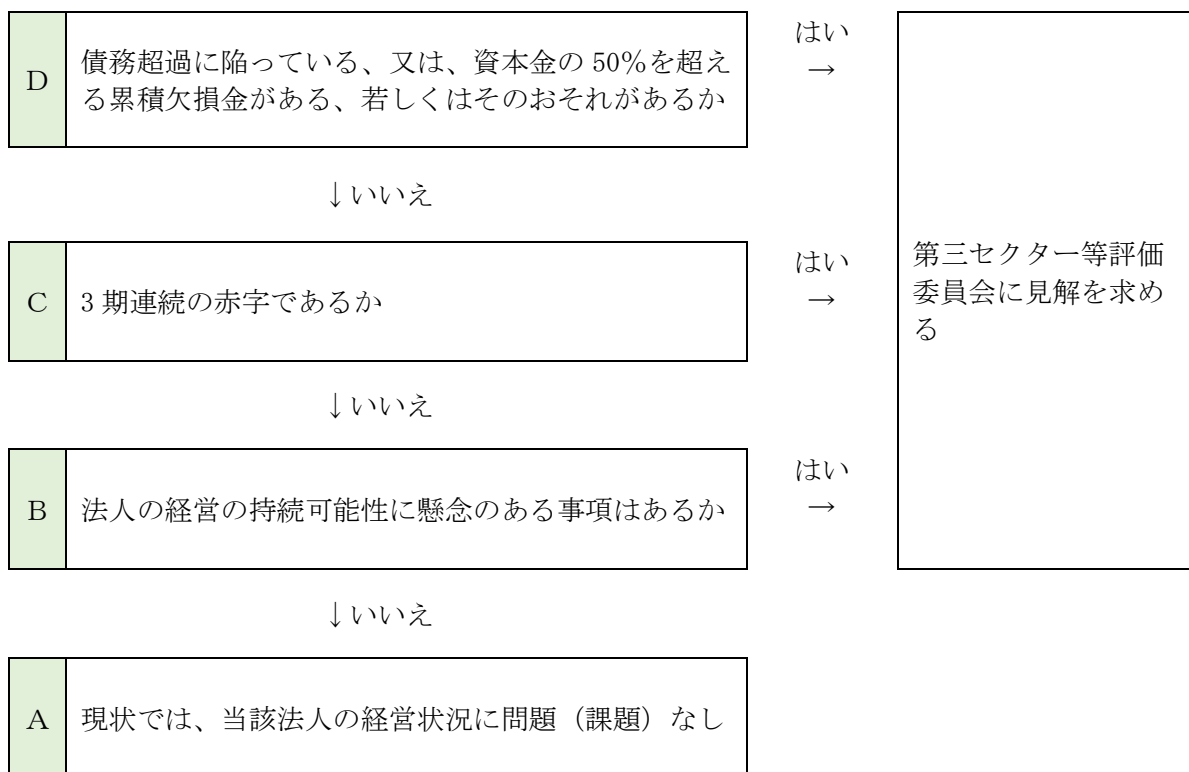
(2) 中長期経営計画

なし

10 令和5年度 経営状況の分析・評価

(1) 第三セクター等の経営状況の分析・評価のフローチャート

※「第三セクター等に対する関与方針」から抜粋



フローチャートによる評価基準		備考
A	経営状況に問題（課題）なし	引き続き経営努力を行う
B	法人の経営の持続可能性に懸念がある	経営健全化の可能性について、第三セクター等評価委員会に見解を求める
C	当期純利益が3期連続の単年度赤字である	
D	債務超過に陥っている、又は、資本金の50%を超える累積欠損金がある	

フローチャートによる評価	C	→ BからD評価の法人は(2)へ
<p>【特記事項】</p> <p>フローチャートではC評価となるため、第三セクター等評価委員会に見解を求めたところ、4期連続赤字の要因がコロナ禍による経営苦境と明らかであるほか、令和5年3月31日時点での同社純資産は61,005千円であり、同社の財務状況に大きな懸念がないとの意見を受けたことから、分析・評価の対象としないこととした。</p>		